

連携 エコプロ



エコプロは毎年12月に東京ビッグサイトで開催されている環境配慮型製品・サービス（エコプロダクツ・エコサービス）に関する一般向け展示会です。

中部大学ESDエコマネージャーチームは2011年から2019年まで東京ビッグサイトで開催されたエコプロに出展し、学生主体の標準化教室を行いました。

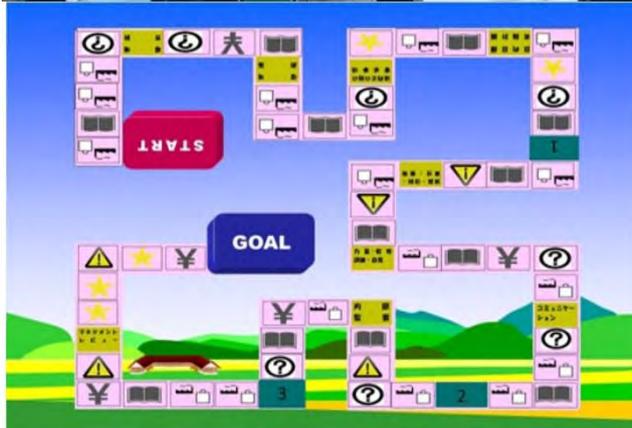


エコプロダクツ2012

もし社長だったら - ISO14001(環境マネジメントシステム)

日本規格協会と共同出展しました。環境経営に必要なマネジメントシステム、関連規格についての知識も幅広く組み込まれた人生ゲーム形式ボードゲームの展示を行いました。会場ではゲームの実演をした。来場者が社長になり、環境経営をしていき、スタートからゴールまでの過程で、自然に環境マネジメントシステムを構築しました。

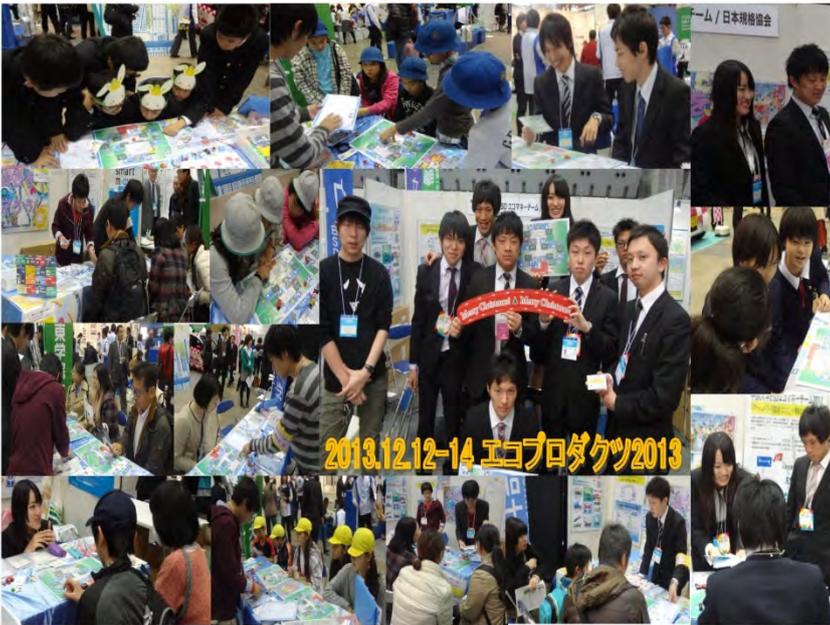
小学生以上を対象としており、経営者として自分の会社の環境マネジメントシステムを構築します。また関連する環境分野の国際標準を学びました。



エコプロダクツ2013

会社を守ろう-ISO22301(事業継続マネジメントシステム)

地震が、火災が、テロが、情報漏洩が起きた場合など様々なリスクについて知り、会社の守り方を検討するための「会社を守ろう」の実演を行いました。来場者は楽しみながら経営者として自社のBCMを構築し、企業経営、環境経営、BCM及び関連分野の国際標準を学習しました。特に、震度7の地震に備え 1. 起きる前に何が出来るか 2. 起きたとき何をしたらいいか 3. 起きた後に何をするかを考える機会となりました。



標準化人材育成

環境マネジメント分野

標準を...

使う → 作る → 教える



「会社を守ろう〜
protect your company」



標準を使う	マネジメント ・学生主体での組織運営 ・統合マネジメントシステムの運用	マネジメント即戦力	大量生産 → 大量消費 → 大量廃棄 持続可能なライフスタイル ESDや持続可能なライフスタイル ↓ あたりまえ	
標準を作る・教える	環境・防災 ・事業継続マネジメントシステムに関するボードゲームの作成及びイベント出展	専門知識 産学官民との連携		
標準を使う・作る	人材育成 ・社会人基礎力や標準化、環境経営に関する力量評価・見える化	環境人材育成 標準化人材育成		

エコプロダクツ2014

責任- ISO26000(社会的責任)

すごろく形式のゲームを楽しみながら，経営者としてどのように自分の会社が責任を持って社会関心の高い課題(環境，人権，労働，コミュニティ，組織，消費者)に応えながら事業活動を行うかを学ぶ教材「責任」を使って標準化教室を開催しました。来場者が課題を1つ選んで自分の会社で何をどのように取り組むと良いかを考えました。自らの活動が社会へ与える影響に責任を持ち，社会全体からの要求に対する適切な意思決定を学ぶ機会になりました。



中部大学ESDエコマネージャーチーム2014



エコプロダクツ2015

ものプロ - ISO19001(品質マネジメントシステム), もし社長だったら-ISO14001(環境マネジメントシステム)

こどもからお年寄りを対象とした2種類の標準化教材の実演を行いました。来場者が経営者として自社のマネジメントシステムを構築しました。環境管理や品質管理とは何かをゲームを通じて学習することができ、楽しみながらこどもから大人まで幅広く学べる教材の実演を行いました。企業経営、環境経営、品質管理及び関連分野の国際標準の学習機会となりました。

本研究・活動の問題意識
経済と環境の両立した社会を構築し、「生活・産業基盤の強化」に資するため、自給自足の社会・持続可能な社会の構築と企業活動を促すマネジメントシステム開発・普及を図る。

環境・品質・ESDに関する知識
視野の拡大
責任感の向上
持続可能な開発の課題解決方法

- ◆ イベントを通して子供から大人、社会人の方に規格の普及を行うことができ、計2639名の方々に教材を体験していただいた
- ◆ 教材を通してマネジメントシステムについての知識や環境問題について、教材を体験していただくことで学生の人材育成だけではなく体験者に対しても標準化教育を行えた
- ◆ 国際会議での英語発表や環境マネジメントシステムの英訳・中国語訳を行うことで日本だけではなく国際的にESD活動を行うことが出来た



学んだこと・成果
Outcome

QMS 品質マネジメント
ものプロ

EMS 環境マネジメント
もし社長だったら2015年版



ICITE for SD2015

専門家向け実演 日本規格協会JIS
Demonstration for specialists

エコプロダクツ2015
Eco products 2015



エコプロダクツ2015
2015.12.11(2日目)



エコプロ2016

労働ウォッチ- ISO45001(労働安全衛生マネジメントシステム), もし社長だったら ISO14001(環境マネジメントシステム)

2種類の標準化教材を実演しました。労働では、自分の会社で発生する労働災害を防ぎ、良い会社だと思ってもらえるようにカードゲーム形式で勉強しました。社長になって、働きやすいと思う職場にするためにはどうするか答えたり、自分の会社で働く人が、労働、安全、衛生について満足するためにはどうしたらいいか考えたりしました。

環境:社長になってどうしたら周りの環境をよくできるか、会社の製品やサービスが環境とどう関連し、どう行動をするか考えることで、環境問題に立ち向かいながら環境と経済のバランスを考えた経営を行いました。

●バリエーションが豊富で、企業規模や業種に応じて、ISO45001の考え方を理解しやすくなる。

●労働安全衛生マネジメントシステムについて、具体的な対策や改善策を学ぶことができる。

●労働安全衛生マネジメントシステムの実践事例を学ぶことができる。

●労働安全衛生マネジメントシステムの実践事例を学ぶことができる。

投資カード(数字の大きい投資カード)
事業継続カード 山形(投資カード-投資カード)

お金(初期200) 体力(最大20)

ゴール
スタート

ISO45001 労働安全衛生マネジメントシステム
標準化カードゲーム OH&S MS

～Solution of Workers～

ちろどろ 見える化
労働ウォッチ
～ソリューション・ウォーカーズ～

中部大学ESDエコマネーチーム

学んだこと・成果

「労働ウォッチ」

会社と環境



わいわいフェスタ



労働安全衛生マネジメントシステムを学ぶ
「働きやすい職場」



中央労働災害防止協会



エコプロ2016(2日目)
2016年12月9日東京ビッグサイト



エコプロ2017

エネマス君、エネルギータワーISO50001(エネルギーマネジメントシステム), Our Future 私たちの未来 消費者の身近な標準

3種類の標準化教材の実演を行いました。エネルギーの教材では、エネルギーの管理の仕方とスマート技術の国際標準を学びながら、住みやすいまちを作ったり、社長になって自分の会社のエネルギー管理を行ったりしました。実際に参加することでエネルギーの管理の仕方とスマート技術の国際標準を学びました。消費者教材では一生を表したボードを使って遊びながら消費者の身近にある標準を学びました。消費者の立場からこんな標準があったらいいのにと考えることができました。



エコプロ2日目 2017.12.8



エコプロ2018

世界を救え(SDGsと超スマート社会に関する標準化教材) , 世界を変えるには(SDGsと持続可能な調達)

2種類の教材を用いた実演を行いました。SDGsの中で関心のある項目についての国際標準と関連させながら学ぶ教材です。来場者は教材を通じてSDGsやスマート社会Society5.0とは何で、どう会社で運営したらいいかを検討しました。

調達の教材では社長になり持続可能性を考えながら自分の会社で作る製品やサービスに必要な物質等を他の組織から調達するための戦略や方法を考えました。

SDGs+超スマート社会 Smart Society

世界を救え
Save the World

中部大学ESDエコマネーチーム
Chubu University ESD Eco money team

世界を変えるには
~You can change the world~

ISO20400 持続可能な調達
Sustainable Procurement

中部大学ESDエコマネーチーム
Chubu University ESD Eco money team

学生主体の標準化教育 活動成果2018

SDGs+超スマート社会 Smart Society
世界を救え
Save the World

標準を作る
SDGsと超スマート社会について遊びながら学び、持続可能な社会の担い手を育てること、産業界、子供、お年寄りまで楽しみながら学ぶ教材を開発することが目的

標準を教える・使う
専門家向け
最新の国際規格の動向を学び、教材の実演を行った
規格面での改訂コメントをいただいた
(日本規格協会・NACS東日本支部)

主催イベント
「ビジネスにおけるSDGsとルール形成人材」
企画・立案・運営・広報を担当
「SDGs・超スマート社会・持続可能な社会」に焦点を当て、専門家を招き、国際標準化の最新動向を学ぶとともに、企業経営のあるべき姿を検討できるイベントとなった
(計3回実施)

中高大連携(学園連携)
持続可能な社会の担い手となる中高生に「SDGs・超スマート社会・持続可能な社会」について授業、教材実演を行った
(愛知商業高校・市邨高校・春日丘高校・春日丘中学校)

市場テスト
学生が教材を実演できるか、また子供やお年寄りに理解しやすいかなどを市場テストし、コメントを教材改定に反映
(一般向け：日進わいわいフェスティバル・中部大学フェア・環境デーなごや・春日井まつり・春日井ビジネスフォーラム・レッツエコアクション・名古屋消費生活フェア・エコプロダクツ2018)
(お子さん向け：春日井わいわいカーニバル・青少年育成アドバイザーフェスティバル)

エコプロダクツ2018
企画・広報・運営を担当
12月6日～8日 会場：東京ビッグサイト
3日間で合計**4,805**名に実施
小学生以上を対象にSDGsと超スマート社会に関する標準化教室を実施

水俣市(地方自治体)
SDGsを市の総合計画に取り入れるうえで教材を用いた学習をすべての部署の課長級以上を対象に2時間実施し、部署での実践内容を踏まえたグループワーク

日本工業教育協会・全国大会

合計8,486名



エコプロ2日目 2018.12.07



エコプロ2019

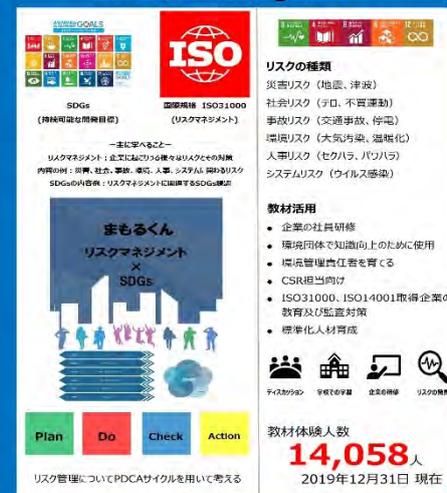
まもるくん: SDGs+リスク管理

食プロ: SDGs+食品安全管理の教材

まもるくん: 来場者は教材体験を通じて、気候変動、台風や地震などの災害、製品事故や職場の事故、セキュリティ、経済の変化等の様々なリスクについてSDGsと関連付けながら、社長としてこれらのリスクにどう対応するかを考えることで、災害や防災に役立つ危機管理の方法を学習しました。

食プロ: 食の安心 安全とSDGsを学べるボードゲームを実演しました。来場者は食品安全の問題や解決策を経営者として考え、食に関するSDGsの課題解決やエシカル消費の実践を意識できました。

学生主体の標準化教育 開発教材2019
まもるくん～risk guard～



SDGs (持続可能な開発目標)
国際規格 ISO31000 (リスクマネジメント)

ISO
国際規格 ISO31000 (リスクマネジメント)

SDGs (持続可能な開発目標)
国際規格 ISO22000 (食品安全マネジメントシステム)

ISO
国際規格 ISO22000 (食品安全マネジメントシステム)

まもるくん
リスクマネジメント
×
SDGs

教材の種類

- 災害リスク (地震、津波)
- 社会リスク (テロ、不買運動)
- 事故リスク (交通事故、停電)
- 環境リスク (大気汚染、温暖化)
- 人事リスク (セクハラ、パワハラ)
- システムリスク (ウイルス感染)

教材活用

- 企業の社員研修
- 環境団体で知識向上のために使用
- 環境管理責任者を育てる
- CSR担当向け
- ISO31000、ISO14001取得企業の教育及び監査対策
- 標準化人材育成

教材体験人数
14,058人
2019年12月31日 現在

Plan Do Check Action

リスク管理についてPDCAサイクルを用いて考える

学生主体の標準化教育 開発教材2019
食プロ～food Professional～



SDGs (持続可能な開発目標)
国際規格 ISO22000 (食品安全マネジメントシステム)

ISO
国際規格 ISO22000 (食品安全マネジメントシステム)

まもるくん
リスクマネジメント
×
SDGs
×
エシカル消費

HACCPによる衛生管理のメリット

1. クレームやロス率が下がる
2. 品質のばらつきが少なくなる
3. 食品の安全性が確保できる
4. 記録に残すことで経験や勘に頼らず品質を高められる
5. 工程ごとに確認する項目が明確になる
6. 食中毒や異物混入なども未然に防げる
7. トレーサビリティ対策になる

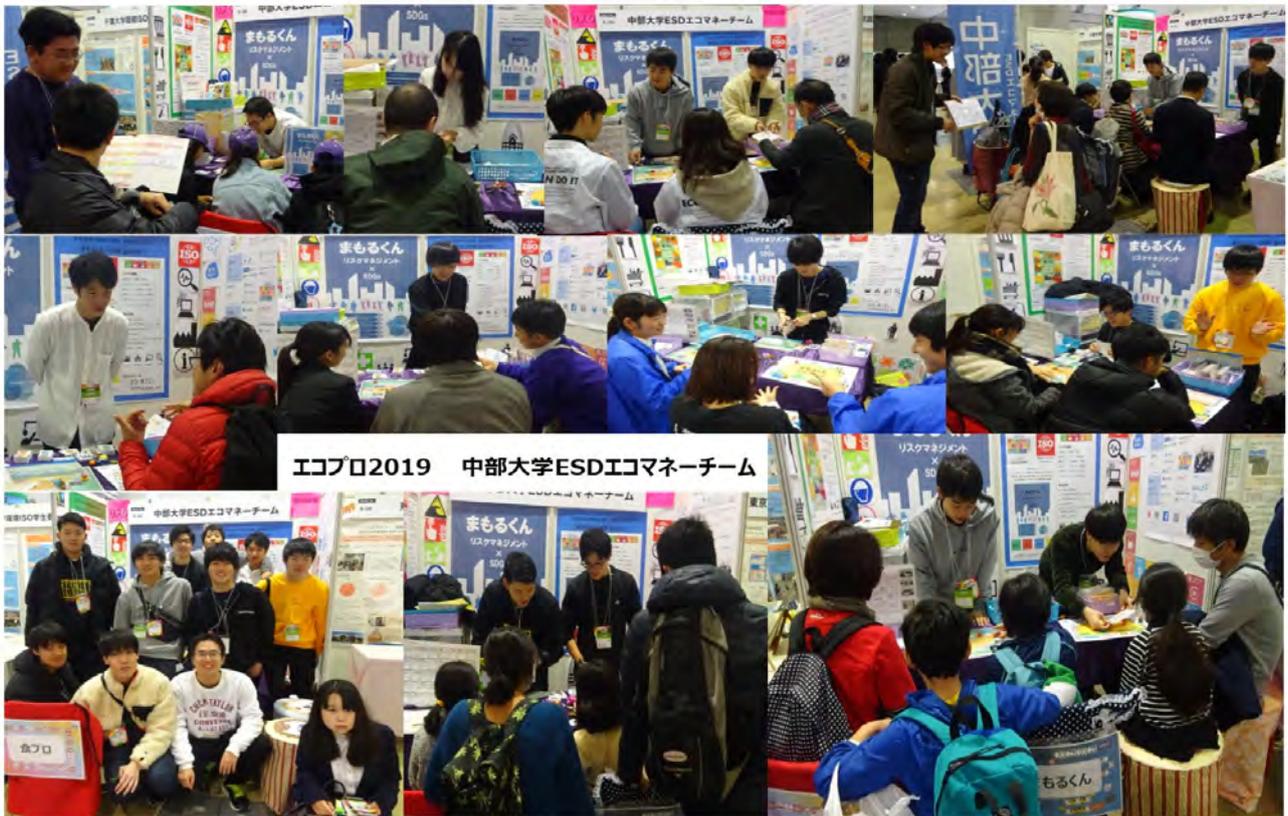
教材活用

- HACCPを簡単に学ぶことができる
- 高校などの生産者、小売店
- 飲食店、加工食品の企業向け
- ISO22000取得企業の教育及び監査対策
- 標準化人材育成

HACCP
食品の生産、出荷の上での危険をあらかじめ予測、分析して異物混入や食中毒などの健康被害を未然に防ぐこと

食品安全
食品を食べることで体調が悪くならないように対策を打つこと

教材体験人数
14,058人
2019年12月31日 現在



標準化教材の入手方法

How to get Teaching materials of standardization

すべての教材を無償公開

All teaching materials are available for free



https://researchmap.jp/kayo_ito/works



伊藤佳世研究室

Kayo Ito Lab HP



中部大学ESDエコマネーチームFB

Chubu University ESD Eco Money team



中部大学ESDエコマネーチームtwitter

Chubu University ESD Eco Money team



中部大学ESDエコマネージャーチーム
春日井市松本町1200
中部大学経営情報学部
伊藤佳世研究室
Tel 0568 51 9968
Fax +41 22 999 0002
https://www3.chubu.ac.jp/faculty/ito_kayo/

